

授業科目 救急蘇生法

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	視機
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	○	○	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 医療の現場では、患者が突然の容態変化をおこす現場に遭遇する機会も想定されることから、心肺蘇生、止血法、異物除去法など一次救命処置に関する応急手当に関する知識・技術を学習するとともに、その必要性を通して医療従事者としての資質向上を図ることを目的とする。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 心肺蘇生法の必要性および手技を理解する。 2. 自動体外式除細動器（AED）について理解し、正しく使用できるようにする。 3. 傷病者管理法、外傷の手当、搬送法を習得する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	応急手当の重要性			1	
2	CPR（心肺蘇生法）－ I 基本的な心肺蘇生法			1	
3	CPR（心肺蘇生法）－ II AEDの使用			2	演習形式
4	CPR（心肺蘇生法）－ III AEDの使用			2	演習形式
5	異物除去法、止血法			3	演習形式
6	心肺蘇生法に関する知識の確認			3	演習形式
7	傷病者管理法			3	
8	外傷の手当要領 搬送法			3	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		救急蘇生法の指針 市民用・解説編		へるす出版	1,260円
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 定期試験、授業参加状況を総合して評価する。			【履修上の留意点】 新潟市消防局の上級救命講習修了書を得るため全日程を履修すること		